令和２年９月１日　作成　平　義隆
令和２年９月８日　修正　宮坂　泰弘

2020 年 8 月 6 日ビーム物理領域インフォーマルミーティング
（ビーム物理研究会拡大幹事会）議事録

日時：2020 年 8 月 6 日（木）　13:00 - 14:40
会場：zoom

出席者（順不同・敬称略）：27 名
鷲尾 方一, 栗木 雅夫, 羽島 良一, 金田 健一, 原田 寛之, 守屋 克洋, 不破 康裕,
山本 尚人, 大谷 将士, 内藤 大地, 宮坂 泰弘, 近藤 康太郎, 神門 正城, 川瀬 啓悟,
大塚 崇光, 全 炳俊, 宮武 立彦, 阿部 周二, 菅 晃一, 寺尾 萌里乃, 小柴 裕也,
坂上 和之, リプタック ザカリー, 宮本 篤, 酒井 泰雄, 平 義隆, 氏名不明１名

司会：酒井 泰雄
書紀：平 義隆, 宮坂 泰弘

配布資料
2020F-1：前回議事録
2020F-2：ビーム物理研究会・若手の会 活動報告

議事内容
1. 前回議事録確認
2. 報告・審議事項
    2-1. 日本物理学会ビーム物理領域
    2-2. ビーム物理研究会関連
    2-3. 日本加速器学会関連
3. その他
    3-1. 国際加速器スクール（ISBA20）について（広大 栗木 雅夫領域副代表）
    3-2. 次回の総会・拡大幹事会

1. 前回議事録確認（資料 2020F-1）

2020 年 3 月の日本物理学会第 75 回年次大会が中止になったため、ビーム物理研究会インフォーマルミィーティング（ビーム物理研究会総会）は 2020 年 4 月 8 日から 5 月 15 日の期間にメール審議を行った。その議事録（配布資料 2020F-1）について内容確認が行われた．事前にメールにて配布されており，時間的な制約から内容の読み合わせは省略した．意見・コメントは無く議事録として承認された．

2. 報告・審議事項

2-1. 日本物理学会ビーム物理領域

[大会関連]

前回の年次大会について

現地開催が中止された 2020 年 3 月 16 日～19 日の日本物理学会第 75 回年次大会での講演数と内訳，一般講演数の推移，他領域との比較，所属機関別内訳，他領域との合同セッション発表件数の内訳，招待・企画・チュートリアル・シンポジウム講演，若手奨励賞受賞記念講演に関して報告があった．詳細については既に『日本物理学会第 75 回年次大会インフォーマルミーティング（ビーム物理研究会総会）議事録』で既報である．一般講演件数を「物理と社会」を除いた他領域と比較すると最下位であり、ここ 3 年は減少傾向にあることが報告された。また，全領域の概要集提出率について報告があった．ビーム物理領域における講演者数の論文提出率は，物性領域の合計と比較して例年 10 パーセントほど低く，今後の提出率向上を課題とする．また，2021 年の年次大会に向けた合同セッションの申込締切は未定だが，例年 9 月となっている．新たな提案があれば相手領域・タイトル案を領域運営委員まで連絡してほしいとの依頼があった．

招待・企画・チュートリアル講演およびシンポジウムについて

第 75 回年次大会では事前の調整不足のため主催シンポジウムが 0 件となってしまった。この反省を活かし、領域内で既にシンポジウム案の募集を開始している。招待講演 1 件、企画講演 1 件、企画講演又はチュートリアル講演 1 件の検討を行っており、引き続き準備を進めることが了承された。また、上記以外にもシンポジウムに関する素案が数件提示された。これらに関しても検討する。

若手奨励賞について

2020 年 3 月の日本物理学会第 75 回年次大会で若手奨励賞を受賞された日本原子力研究開発機構の北村 遼氏については、対面での受賞記念講演が行えなかったため、第 76 回年次大会において企画講演を実施する予定である。企画講演では、第 75 回年次大会で登録された題名から少し変更することと、発表内容も 1 年分の進展を加えるように領域委員会において依頼されたことが鷲尾 方一領域代表（早大）から報告があった。

今年の日本物理学会若手奨励賞（ビーム物理領域）の募集締切は 7 月 31 日で, 6 件の応募があったことが報告された. 例年応募件数が少ない状況が続いていたが、今年は応募件数が多く、来年度以降も多数の応募が継続するように鷲尾 方一領域代表（早大）よりコメントがあった。

日本物理学会 学生優秀発表賞の結果について

今年の年次大会 (2020 年春) より講演申込時の Web エントリーのみに変更となった. また, 予稿の提出を必須とした. 今回は 24 名のエントリーがあったが、現地開催が中止となり、実施規則において定めている方法による評価が行えないと判断し選考は行わなかった。

第 76 回年次大会(2021 年春)までのスケジュール

2021 年次大会までのスケジュールが確認された.「素核宇」は 2020 年 9 月 14 日から 17 日まで, 「物性」が 2020 年 9 月 8 日から 11 日までどちらもオンラインで開催される。 第 76 年次大会は 2021 年 3 月 12 日から 15 日まで東京大学・駒場キャンパスで開催される. シンポジウム, 招待・企画講演などの申込締切（Web 受付）は 11 月初旬, 一般講演の申込期間は 10 月下旬から 11 月下旬と予想される. 申込に向けた準備を進めてほしいとの依頼があった.

物理学会年次大会講演の英語化についての意見聴取

前回のインフォーマルミーティングで意見聴取された講演の英語化について引き続き意見聴取を行った。『日本物理学会第 75 回年次大会インフォーマルミーティング（ビーム物理研究会総会）議事録』において挙がった意見は既報である。新たな意見は出なかった。領域として英語化に対する強い要望はないことを確認した。

[領域運営関連]

執行部と事務局の確認

ビーム物理研究会及び日本物理学会ビーム物理領域の現執行部の確認が行われた. 2019 年 4 月より現執行部の体制は以下の通り. 任期は 2019 年 4 月から 2021 年 3 月まで.

＜ビーム物理研究会＞

会長：鷲尾 方一（早大）

副会長：栗木 雅夫（広大）, 羽島 良一（QST）

＜日本物理学会ビーム物理領域＞

代表：鷲尾 方一（早大）

副代表：栗木 雅夫（広大）

＜事務局＞

早稲田大学理工学部

東京都新宿区大久保 3-4-1　55 号館 S 棟 3 階

次期執行部についても審議を行い、2021 年 4 月から 2023 年 3 月までの次期執行部については、以下の体制になることが承認された。

＜ビーム物理研究会＞

会長：栗木 雅夫（広大）

副会長：神門 正城（QST），鷲尾 方一（早大）

＜日本物理学会ビーム物理領域＞

代表：栗木 雅夫（広大）

副代表：神門 正城（QST）

＜事務局＞

東広島市鏡山 1 丁目 3 番 1 号

広島大学大学院先進理工系科学研究科

加速器物理学研究室

次期領域運営委員について

現領域運営委員の平 義隆氏（分子研）の後任として, KEK の大谷 将士氏が推薦され, 承認された. 任期は 2021 年 4 月から 2022 年 3 月までの 1 年間となる.

2-2.　ビーム物理研究会関連

[研究会関連]

ビーム物理研究会・若手の会 2019 について（阪大産研 菅 晃一氏）

菅 晃一氏（阪大産研）よりビーム物理研究会・若手の会 2019 に関して概要の報告があった. 大阪大学産業科学研究所及び RCNP の主催により 2019 年 11 月 25 日から 27 日（研究会：25－26 日、若手の会：26－27 日）の会期で開催された. 会場は大阪大学吹田キャンパスにある産業科学研究所インキュベーション棟 I-117 で、若手の会も同じ会場で開催された. 研究会の参加者 59 名(一般 31 名、学生 28 名)、若手の会の参加者 55 名(一般 26 名、学生 29 名)であった。RCNP より学生に対して旅費の補助がされた。

ビーム物理研究会・若手の会 2020 について

理化学研究所仁科加速器センターで 2020 年 12 月 8 日から 10 日まで開催の予定であったが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため現地開催を中止し、オンラインで開催することが報告された。オンライン研究会の主催はビーム物理研究会と若手の会で、会

期は 11 月もしくは 12 月に 2, 3 日程度を予定している。若手の会では、例年通り若手発表賞を設ける予定である。

[研究会運営関連]

若手の会の活動報告（坂上 和之氏 東大）

まず，ビーム物理研究会・若手の会の活動に関して，坂上 和之氏（東大）より資料 2020F-2.pdf を用いた説明があった．若手の会の 1 年間の活動報告は以下の通りである．

2019 年 8 月　第 1 回企画研究会「ビーム物理研究会の 30 年後の世界を考える」を京都大学エネルギー理工学研究において開催
2019 年 10 月 日本加速器学会誌「加速器」 16 巻 3 号（2019)にビーム物理研究会・若手の会 第 1 回企画研究会の報告が掲載された（坂上氏、原田氏）
2019 年 11 月 ビーム物理研究会、若手の会 2019 において若手発表賞 3 名を選考した
2019 年 11 月 幹事会会合において次期会長候補を選出
2020 年 3 月　若手の会総会(メール審議)にて第 2 期幹事会を承認
2020 年 4 月　第 2 期幹事会発足
2020 年 7 月　第 2 回企画研究会「high current & duty RF linac」～若手研究者と企業を繋ぐシリーズ～をオンラインで主催

次に，会員の状況について報告があった．2020 年 7 月 24 日時点での会員数は 123 名であり，第 2 期幹事会メンバーに尽力により 1 年前から約 30 名会員が増加した。

2020 年 4 月より第 2 期幹事会が発足し新しい体制で運営している。現体制は 2022 年 3 月までの予定である。幹事会はビーム物理領域との連携を深めることを目的とし，領域代表及び副代表に顧問就任を依頼している．また，領域運営委員もオブザーバーとして参加している．

若手の会のホームページでは、若手研究者及び学生にビーム物理の魅力をアピールし，求められている研究者像を明確化することを目標に，公募採用の案内を掲載し，メーリングリストにおいても配信を行っていることが報告された．また，学会・研究会案内もメーリングリストで配信しているので，配信したい内容がある方は連絡してほしいとの依頼があった．

若手の会が開催する企画研究会は、若手の会会員であれば誰でも企画提案することができる。オンライン開催も可能であるため、積極的な提案が呼びかけられた。

第 2 回企画研究会について、CICS の金田氏から提案された「high current & duty RF linac」～若手研究者と企業を繋ぐシリーズ～が 2020 年 7 月 7 日にオンラインで開催されたことが報告された。企業と大学などに所属する若手研究者の交流を目的として、企業の研究者と KEK の研究者から 1 件ずつ講演がなされた。若手研究者と企業を繋ぐシ

リーズが今後も継続するように積極的な提案が依頼された。

日本学術会議・若手科学者ネットワークについては、現在活動が停滞している旨が報告された。

ビーム物理研究会・若手の会 2019 での若手発表賞についての説明があった。若手発表賞は，ビーム物理分野の研究に取り組む若手研究者や学生の研究意欲を高め，研究者・社会人としての自立と発展を支援することを目的として 2015 年より授与を行っている．原則年齢は問わないが学生もしくは任期付き研究員を対象としている。口頭発表のうち，研究成果，主体性及び発表のまとまりを評価項目とし，数名の審査員による 10 段階の採点によって受賞者を決定する．本研究会では、3 名に賞状と副賞が授与された。

2-3. 日本加速器学会関連

第 18 回日本加速器学会年会のお知らせ

会期：2021 年 8 月 9 日（月）- 8 月 11 日（水）
共催：未定
会場：群馬県高崎市
備考：会期中にインフォーマルミーティング・ビーム物理研究会拡大幹事会を開催.

3. その他

3-1. 国際加速器スクール（ISBA20）について（広大 栗木 雅夫領域副代表）

栗木 雅夫領域副代表より，2021 年 2 月 25 日から 3 月 3 日に広島で開催される第 3 回ビーム力学と加速器技術についての国際スクール（ISBA20）についての概要説明が行われた．本スクールでは，加速器科学特に加速器設計、建設に対する基礎的な知識の獲得、最新の研究動向の把握、スキル向上のためのカリキュラムが組まれている。7 月末に応募は締め切られたが、9 月に追加応募を検討していることが報告された。

3-2. 次回の総会・拡大幹事会

次回の総会は 2021 年 3 月 12 日（金）- 15 日（月）に開催される日本物理学会第 76 回年次大会（東京大学・駒場キャンパス）の会期中に行う．また，拡大幹事会は 2021 年 8 月 9 日（月）- 11 日（水）に開催される第 18 回日本加速器学会年会（群馬県高崎市）の会期中に行うことが確認された.